

「発酵×オーガニックビレッジ」だより

～1300年の伝統発酵調味料～

神崎の食育 手前みそづくり

発酵食品といえば必ず名前が挙がる「みそ」。今回は私たちの生活に身近でありながら実はよく知らない「みそ」について紹介します。

長い歴史を持つみその作り方はシンプルで18時間以上水に浸した大豆を3～4時間ほど煮た後に潰して、麴や塩と混ぜて容器に詰めて熟成させることで作ることができます。この時使用する麴が米麴、麦麴、豆麴のいずれかを選ぶことで種類が分かります。

神崎町では明治創業の老舗「平甚酒店」、「鈴木粃店」と自然を生かした食品づくりにこだわった「こうぎき自然塾」の3軒がみそづくりを行っており、神崎町では「こうぎき自然塾」の協力のもと、小学校でみそづくりを行うなど食育も行っています。

原材料の配分量や熟成期間などのわずかな違いで大きく味が変わるため、手前みそづくりは毎回違った味を出す「作って楽しい、食べておいしい」ものとなり、毎年新たな味を生み出しています。



▲小学校での手前みそづくりの様子

春季全国火災予防運動

全国統一防火標語『守りたい 未来があるから 火の用心』



3月1日㊥から7日㊤まで、春季全国火災予防運動を実施します。

この運動は、町民の防火に対する関心を高め、火災から尊い生命を守り、貴重な財産の損失を防ぐことを目的としています。

●住宅用火災警報器の設置は済んでいますか

火災の発生にいち早く気づき、速やかに避難を開始できるように全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

大切な家族の命や財産を守るためにも住宅用火災警報器を設置しましょう。

●そろそろ交換時期では？

住宅用火災警報器は古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで、火災を感知なくなったり、故障しやすくなったりしますので、定期的に点検してください。点検を実施した時に反応しない場合や設置から10年経過しているものは交換しましょう。点検方法はメーカーや機種によって異なるため、取扱説明書で確認してください。

●住宅用火災警報器のこと消防署に相談しませんか？

令和6年11月9日㊥から成田市内各消防署・分署及び消防本部予防課（休日を除く）に【住宅用火災警報器設置相談窓口】を開設しています。些細なことでも構いませんので、お越しいただくか電話にての相談をお待ちしております。

●火災予防イベントについて

町民の皆さんに火災予防について興味や関心を高めてもらうためのイベントを開催します。

このイベントではちびっこ消防車や消防の資器材を展示します。ぜひイベントに参加し、火災予防について学んでみましょう。

・日時 3月1日㊥ 10時～15時

・会場 ユアエルム成田1階センターコートほか

▶問合せ 成田市消防本部予防課 ☎0476-20-1591